

# かだい図書 ごあんない



## 山のちょうじょうの木のとっぺん



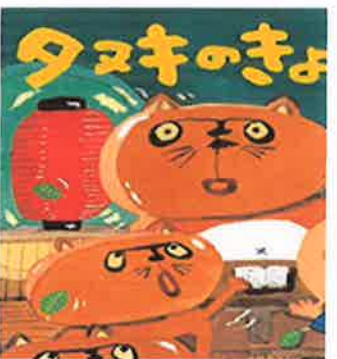
にしゃんといがらしくん。ふたり ようちえん  
二人は幼稚園のときからの友だち。  
いがらしくんははな あな まめ い  
いがらしくんは鼻の穴に豆を入れた「はなまめ伝説」がある。  
にしゃんは、すぐ泣くよわむし。  
ある日、ひ げんき  
ある日、元気がないにしゃん。にしゃんのいえ いぬ  
にしゃんの家の犬、ごんすけがびょうき ろうすい  
ごんすけが病気と老衰  
でしにそうになる。ふたり  
二人はごんすけを見守る。いがらしくんは、にしゃん  
のきも  
の気持ちがだんだんとわかるように・・・

## おれ、よびだしになる



だいす すもう よびだ  
大好きな相撲の「呼出し」になりたいと思っっている男の子。すもう  
相撲をテレビ  
かんせん  
観戦するだけでなく、おおすもうけんぶつ すもう べ や なんど つ  
大相撲見物や相撲部屋へも何度も連れていってもら  
い、よびだ  
い、呼出しさんとも知り合いになって、呼出しになる夢を大きく膨らませる。  
ゆめ おお ふく  
夢に向かってすす せいねん すがた すもう しゅく かか しごと  
夢に向かって進む青年の姿と、相撲の仕組みや関わる仕事もわかります。

## タヌキのきょうしつ



ひろしま はじ しょうがっこう ころ  
広島に初めて小学校ができた頃、タヌキも夜の学校で一生懸命勉強をし  
ていた。にんげん み み  
人間たちは見て見ないふりをするが、いつしかうわさは広がり、タ  
ヌキたちは、しかたなくこうてい き ねもと どうけつ まな  
校庭のクロガネモチの木の根元の洞穴で学ぶようにな  
る。とき す せんそう はじ  
時は過ぎ、戦争が始まり、タヌキのすがた み ひろしま げんぱく  
姿も見えなくなる。広島への原爆  
とうか ふっこう へ  
投下、そして復興を経て、タヌキの子どもたちが再び姿を見せた。  
ぼのぼのとしたタヌキのすがた へいわ とうと つた ひろしま れきし  
姿から平和の尊さが伝わり、広島歴史をみつめ  
ることができる。

## ながーい5ふんみじかい5ふん



も じかん なが たの じかん ま おな じかん  
持っている時間の長いこと。楽しい時間はあっという間。同じ時間なのにな  
んでこんなにちがうのだろう。パパはいつも「あと5分」っていう。パパだけ  
じゃない。おとな じかん ふん  
大人はちょっとの時間を「5分」っていう。でも、ぼくにはとて  
も長い。なが おとな ふん ちが あさ よる ふん  
も長い。大人とぼくの「5分」は違うのかな。朝から夜までの「5分」をぼ  
くのかん かた か かん  
感じ方で書いてあり。みんなはぼくと同じ「5分」かな？